



OPTEX

2021年12月期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2022年2月14日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2021年12月期 連結決算のPOINT

売上高および経常利益で過去最高を更新

既存事業の好調拡大(+22%)に加え、

新たにグループ入りしたサンリツオートメイションの寄与で、

売上高は前年度比で+32%と大幅増収

売上原価率が約1ポイント上昇したものの、

販管費率が大きく低減した結果、

営業利益は前年度比で+121%、

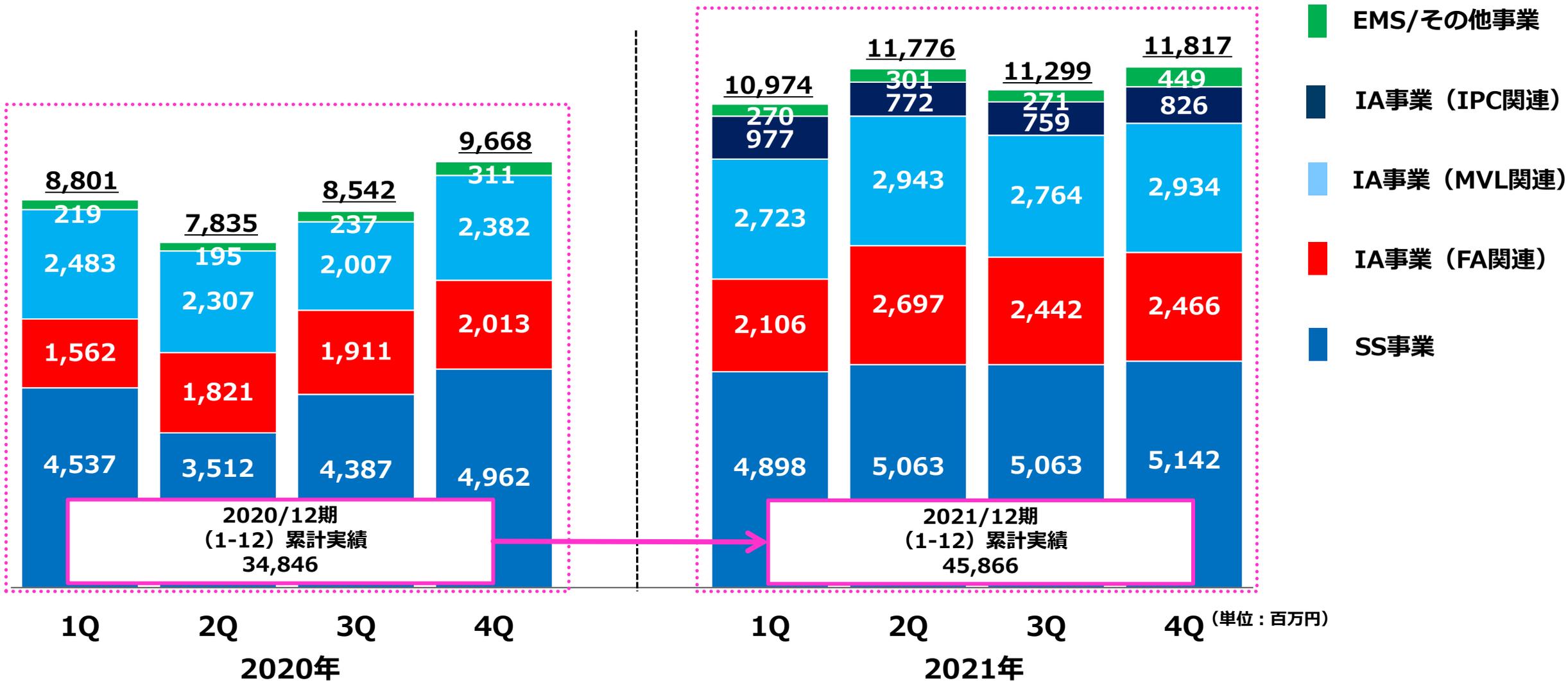
経常利益は為替効果で、+136%と大幅増益

2021年12月期 連結決算総括

経営成績 (単位:百万円)	2020/12期 通期実績	2021/12期 通期実績	増減額	増減率
売上高	34,846	45,866	+11,019	+31.6%
営業利益 (営業利益率)	2,098 (6.0%)	4,630 (10.1%)	+2,532	+120.7%
経常利益	2,176	5,130	+2,954	+135.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,395	3,762	+2,367	+169.7%
1株当たり当期純利益 (円)	38.59	104.18		

為替レート (円)	1USD	106.82	109.80
	1EUR	121.81	129.89

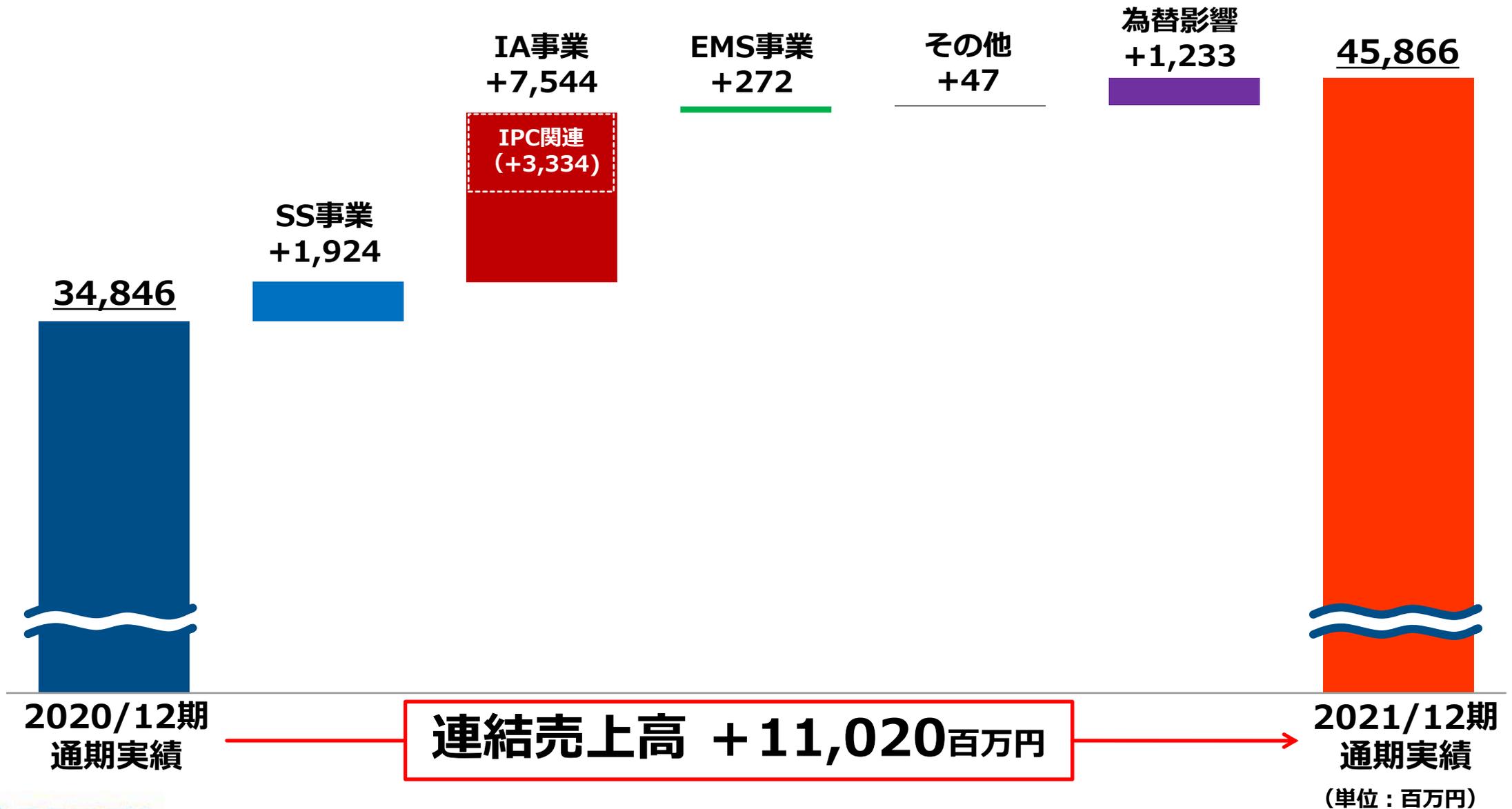
2021年12月期 連結売上高 四半期推移 (前年比)



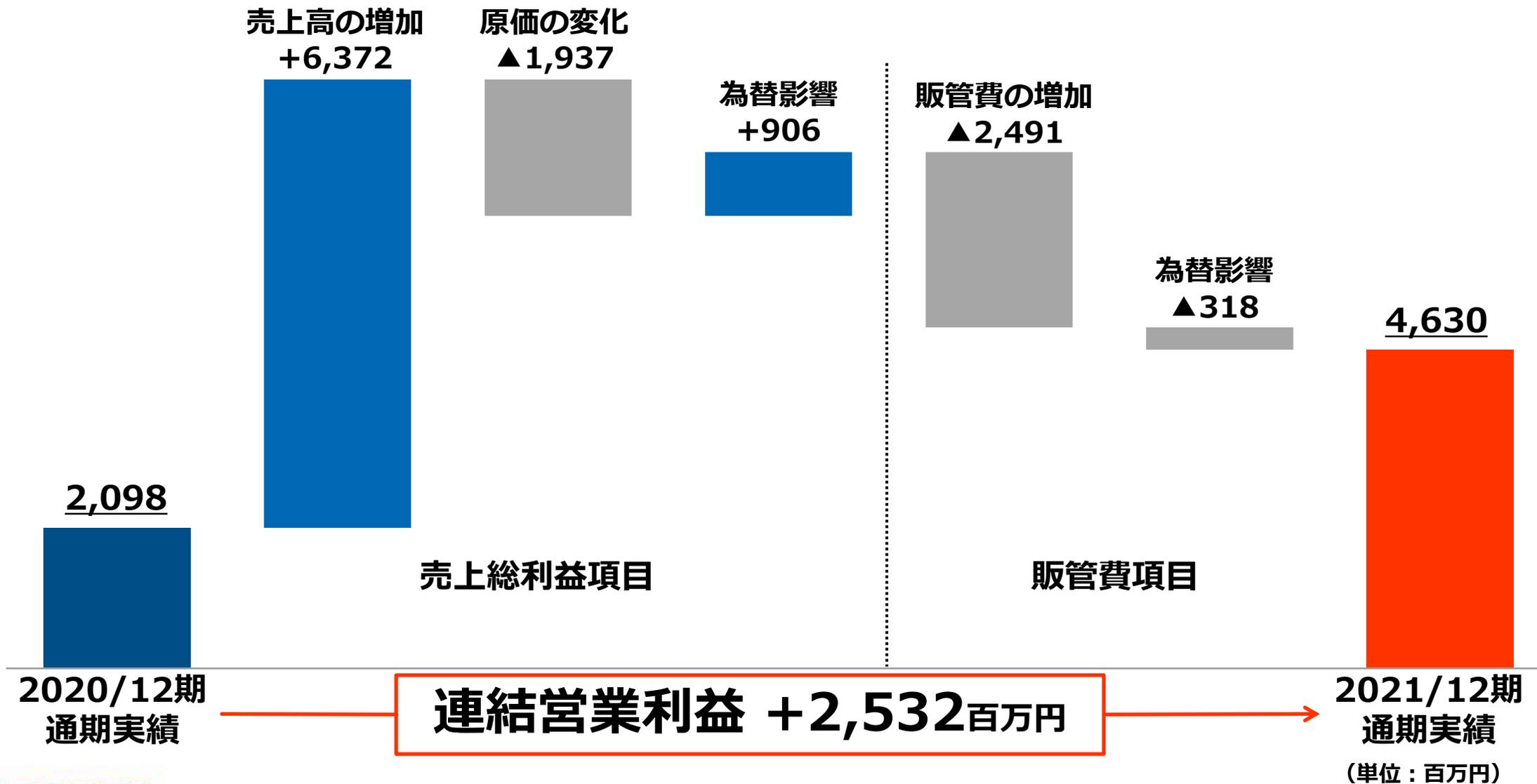
2021年12月期 連結決算 セグメント比較

経営成績 (単位:百万円)	2020/12期 通期実績		2021/12期 通期実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	増減率	営業利益 (営業利益率)	増減率
SS事業	17,398	1,430 (8.2%)	20,164	+15.9%	2,201 (10.9%)	+53.8%
IA事業	16,488	1,086 (6.6%)	24,409	+48.0%	2,700 (11.1%)	+148.6%
EMS事業	471	66 (14.1%)	756	+60.5%	310 (41.0%)	+366.8%

2021年12月期 連結売上高 増減要因 (前年比)

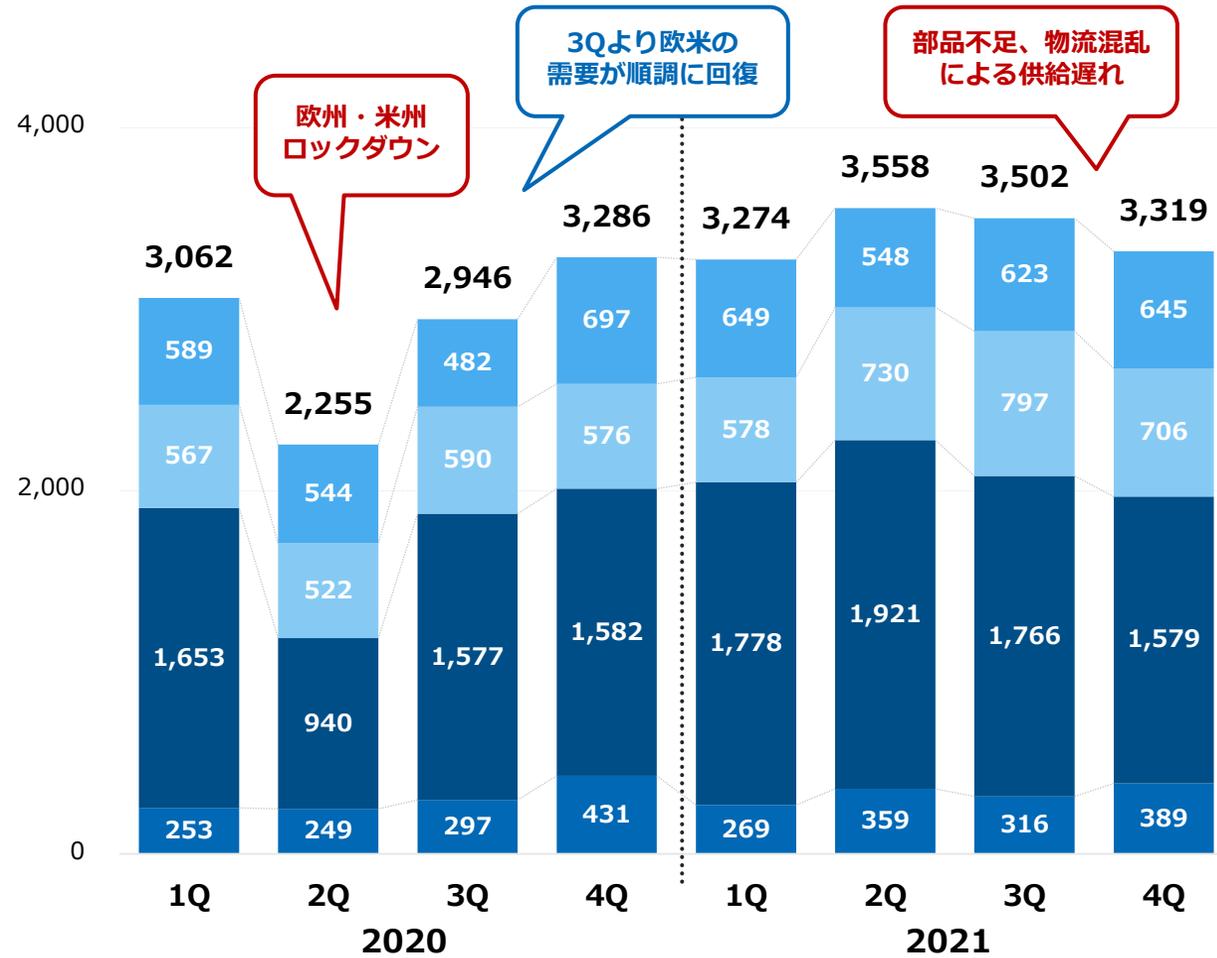


2021年12月期 連結営業利益 増減要因 (前年比)

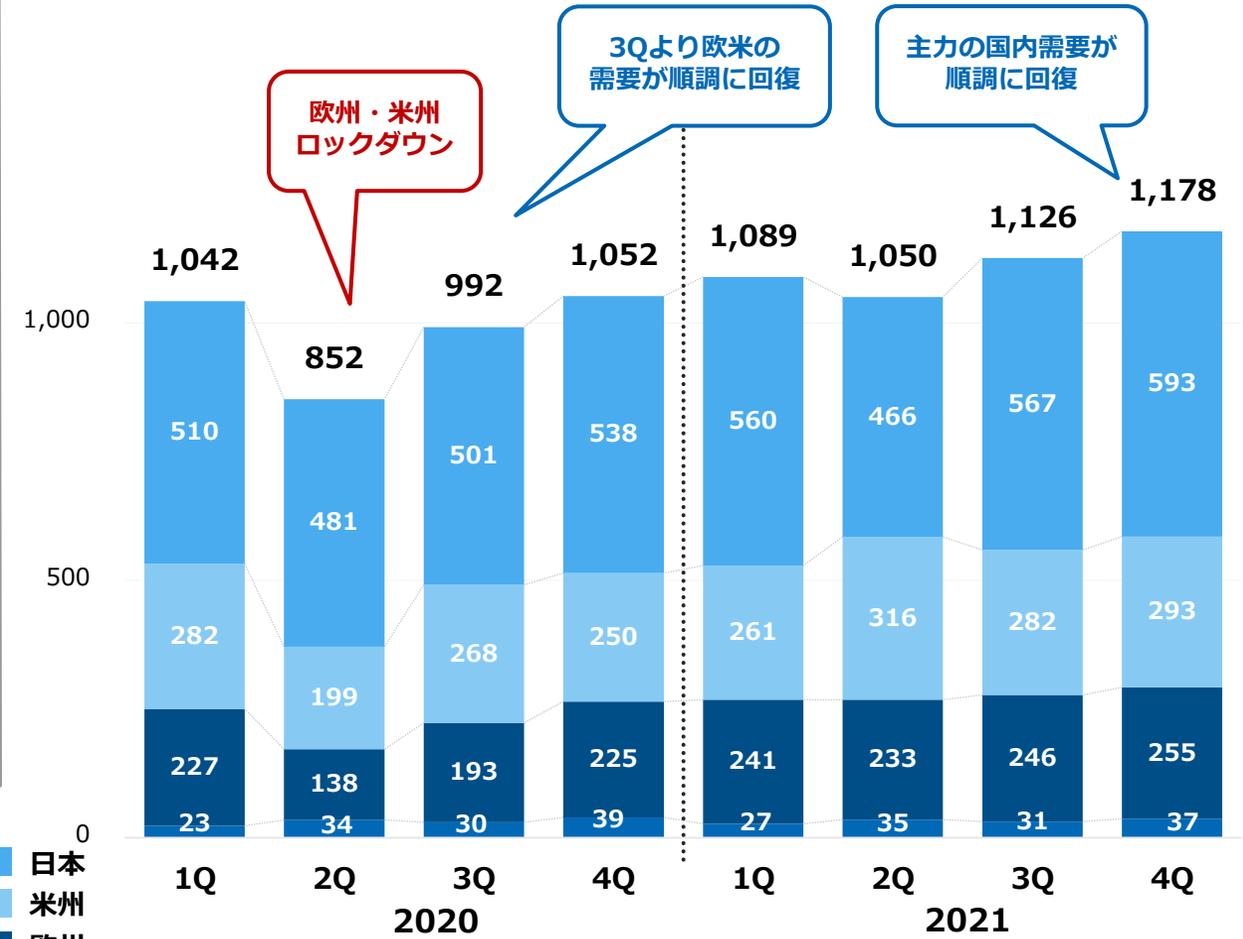


地域別売上高 四半期推移 (SS事業)

SS事業 (防犯関連)



SS事業 (自動ドア関連)



セグメント・SS事業（防犯関連）



地域	2021/12期 通期実績
日本	警備会社及び大型重要施設向けの販売が堅調に推移し増収
AMERICAs	部品不足・物流混乱により4Qに売上が伸び悩んだものの、事業所・大型重要施設向けのダイレクトマーケティングの営業効果、新製品（レーザーセンサーなど）効果により大幅増収
EMEA	部品不足・物流混乱により3Q以降に売上が伸び悩んだものの、一般住宅・事業所向け市況の回復、大型重要施設向けのダイレクトマーケティングの営業効果により大幅増収
アジア	国により市況回復の差がある中、重要施設向けの販売が堅調に推移し増収

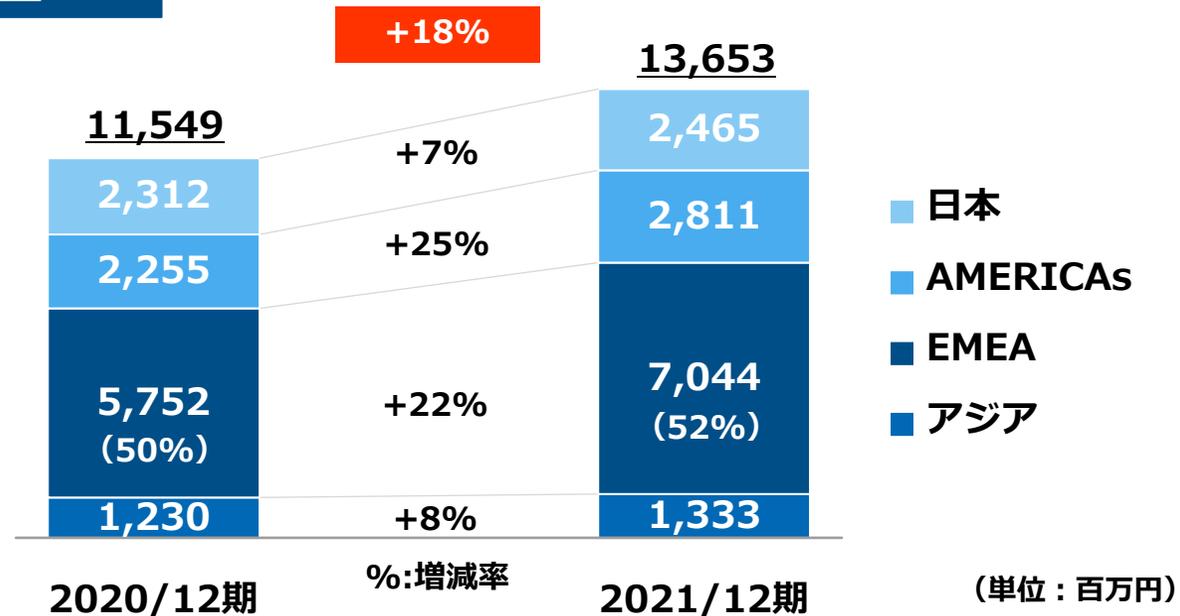
地域別売上高推移（）内%は構成比率



大型重要施設向けセンサー



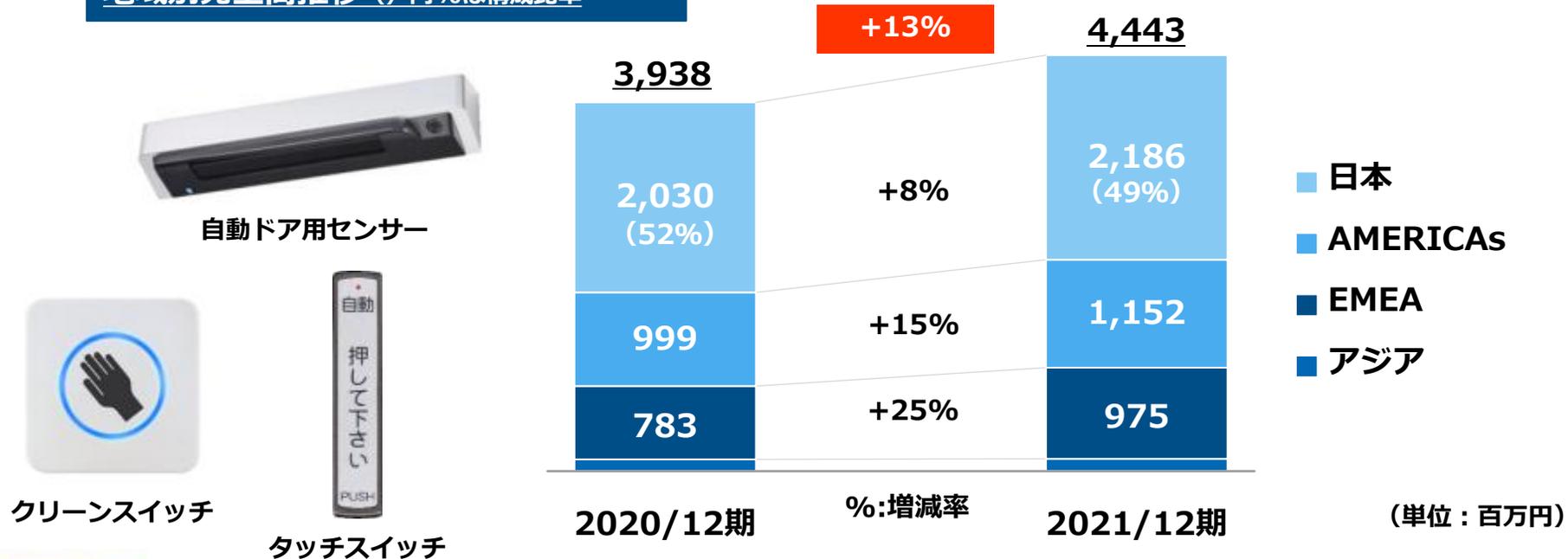
カメラ付きセンサー



セグメント・SS事業（自動ドア関連）

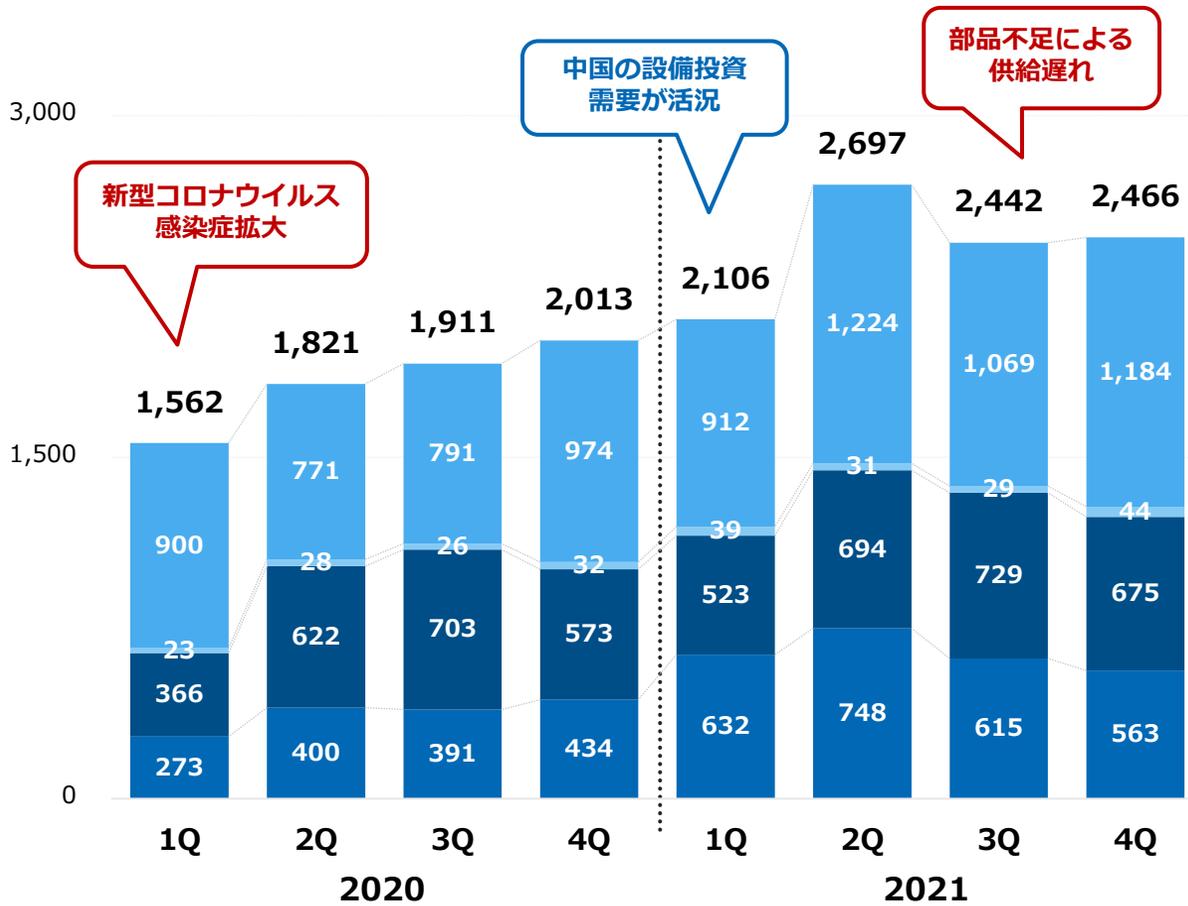
地域	2021/12期 通期実績
日本	市況の順調な回復及び非接触用途のセンサー需要により、販売が堅調に推移し増収
AMERICAs	部品不足・物流混乱により3Q以降に売上が伸び悩んだものの、市況回復と北米大手自動ドアメーカー向けの販売が順調に推移し増収
EMEA	部品不足・物流混乱により製品供給が遅れたものの、欧州大手自動ドアメーカー向けの販売が順調に推移し大幅増収

地域別売上高推移（）内%は構成比率

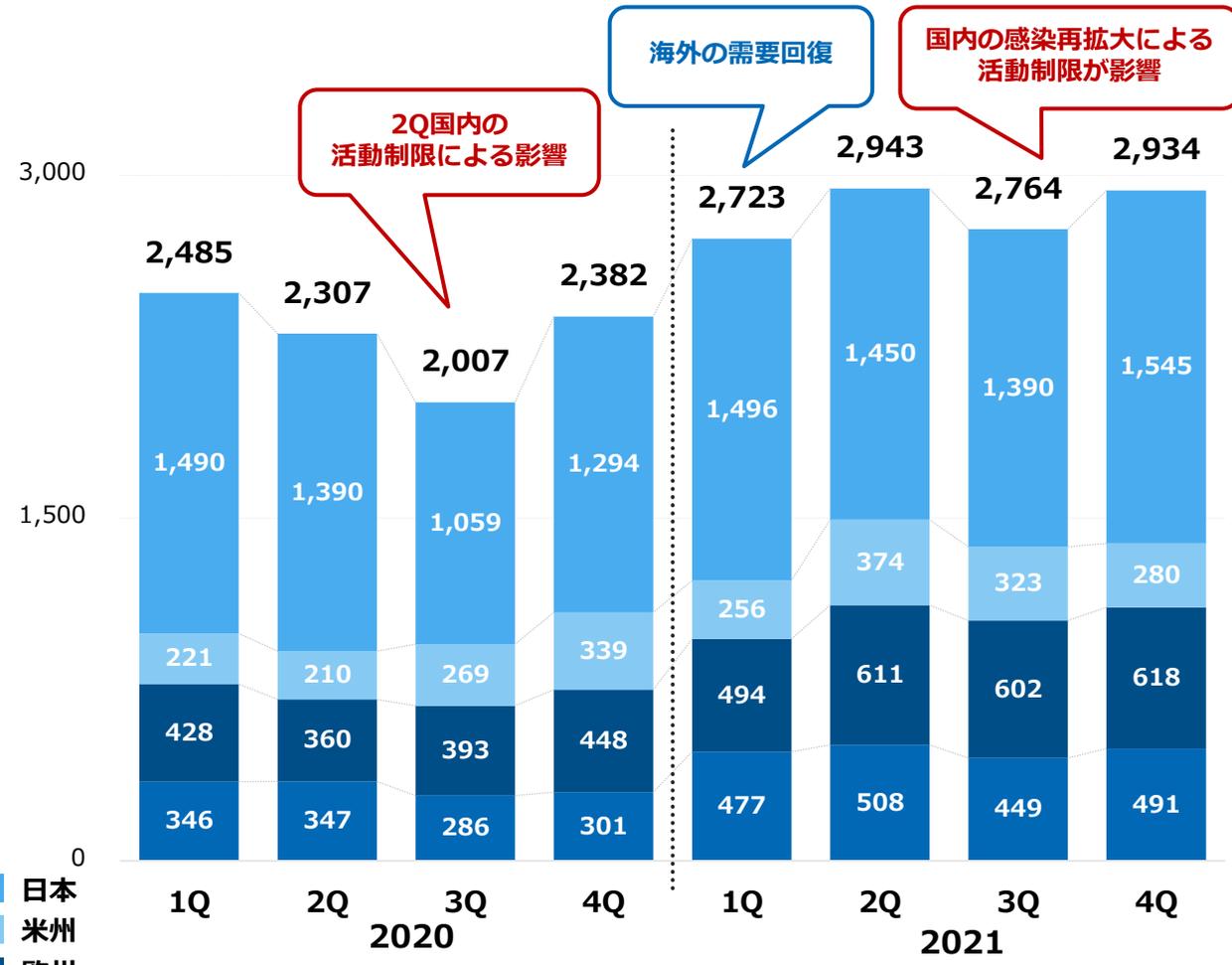


地域別売上高 四半期推移 (IA事業)

IA事業 (FA関連)



IA事業 (MVL関連)



セグメント・IA事業（FA関連）

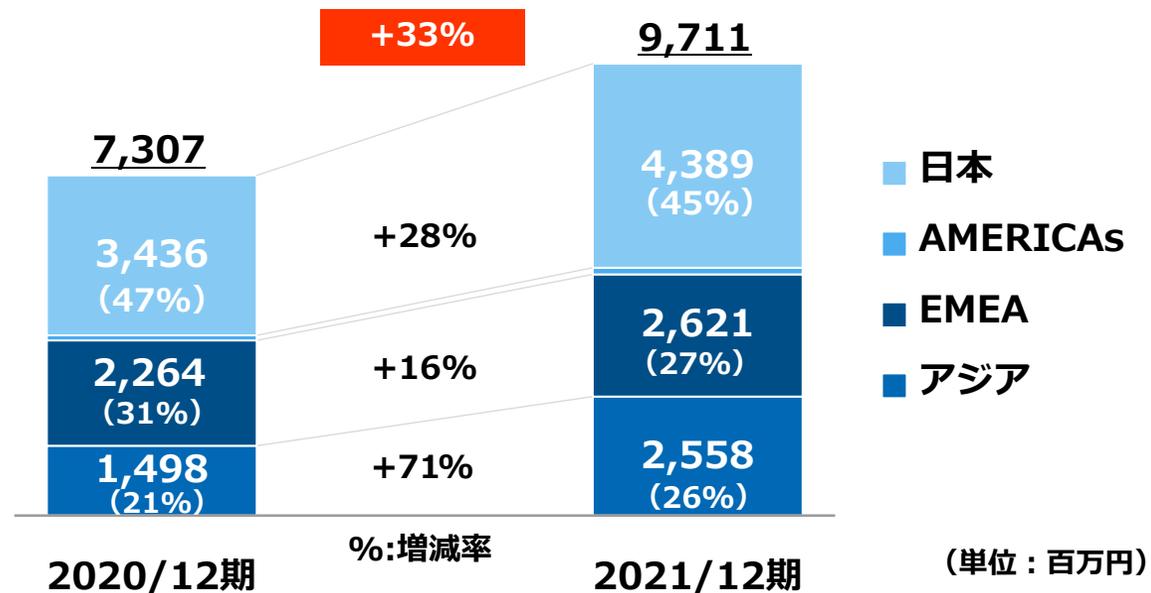


地域	2021/12期 通期実績
日本	食品業界向け及び電気・電子・半導体関連投資向けの販売が順調に推移し大幅増収
EMEA	電子部品向けの変位センサーの販売が順調に推移し増収
アジア	中国で半導体・電子部品・二次電池等の旺盛な設備投資需要により変位センサー等の販売が順調に推移し大幅増収

地域別売上高推移（）内%は構成比率



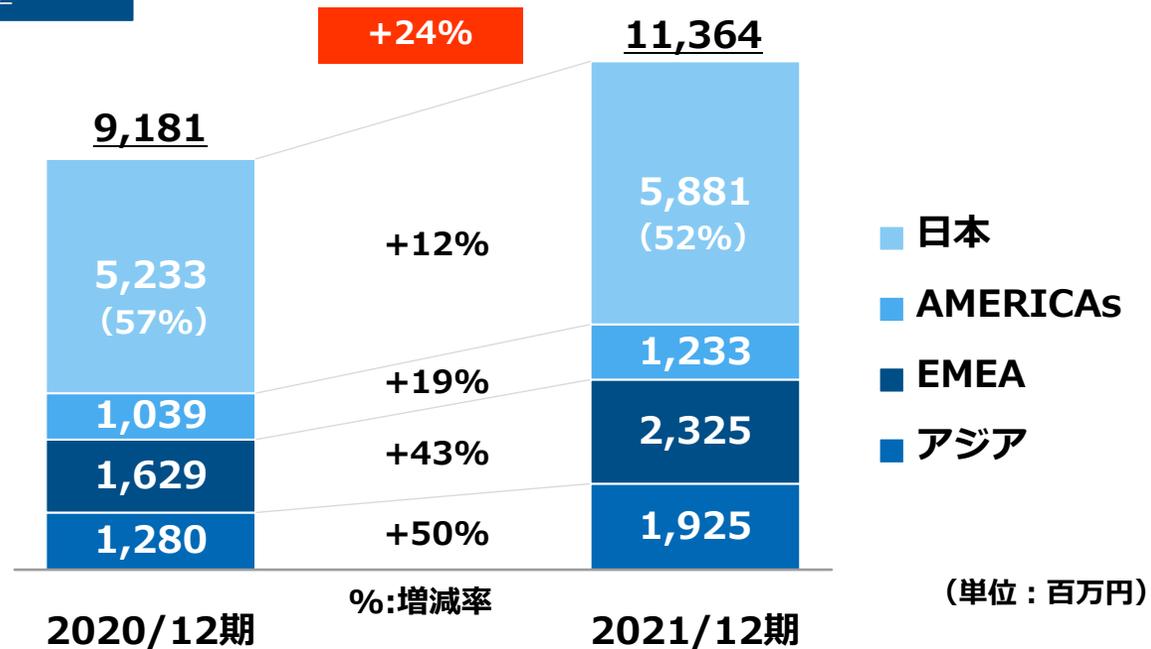
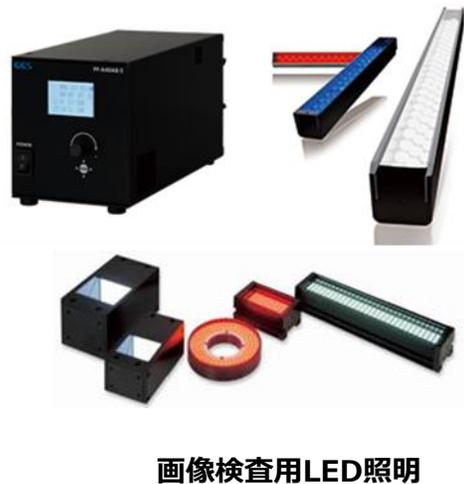
変位センサー



セグメント・IA事業 (MVL関連)

地域	2021/12期 通期実績
日本	自動車業界向けの販売が伸び悩んだものの、電気・電子・半導体関連投資向けの販売が順調に推移し増収
AMERICAs	北米地域での医療業界向けの継続案件及び半導体関連投資向け受注により増収
EMEA	欧州の経済活動回復と米国への製品展開でフランス子会社の販売が拡大し大幅増収
アジア	中国で半導体関連投資向けの販売が拡大し大幅増収

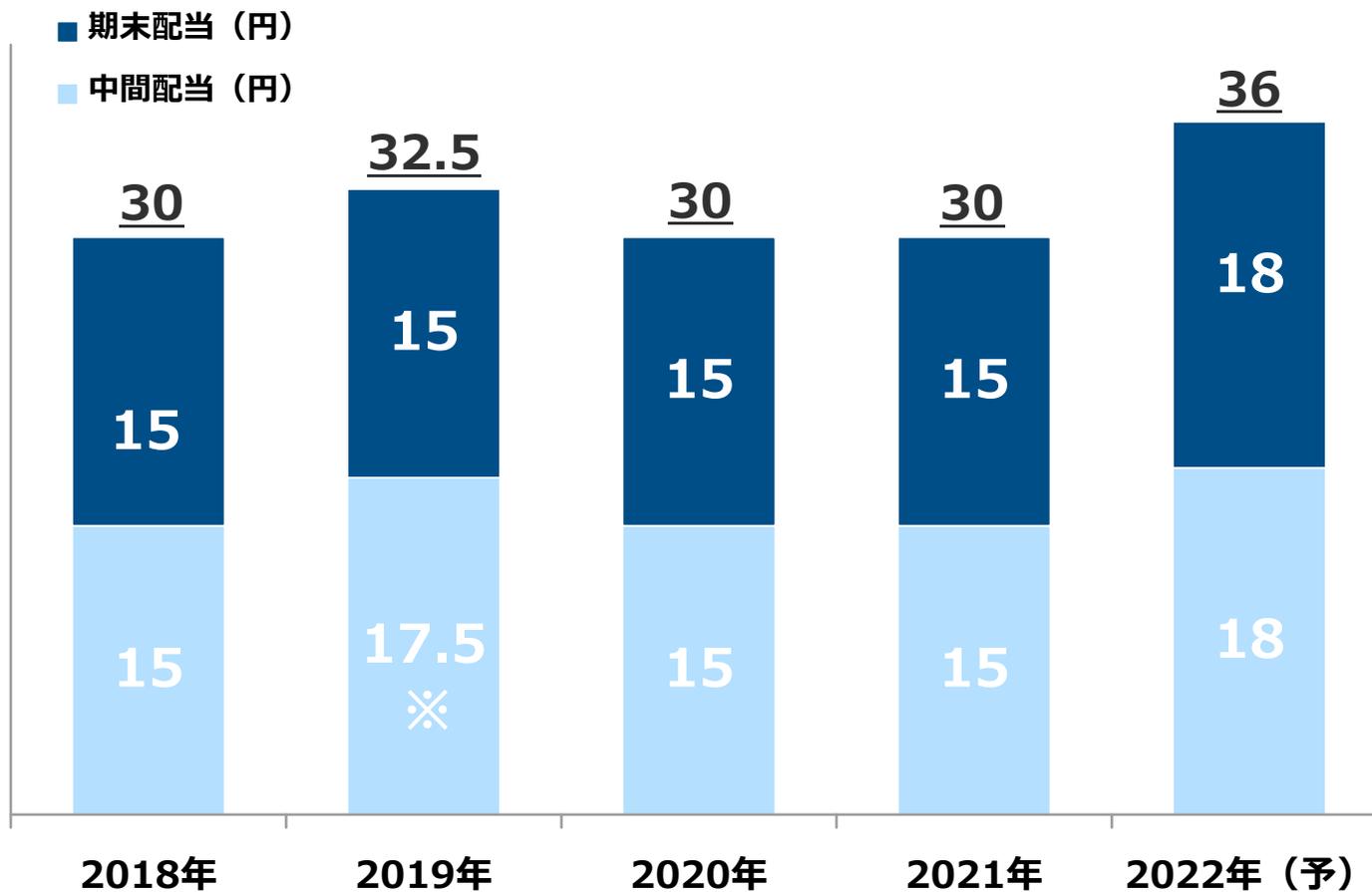
地域別売上高推移 () 内%は構成比率



2022年12月期 通期連結業績予想

経営成績 (単位:百万円)		2021/12期 通期実績	2022/12期 通期予想	増減額	増減率
売上高		45,866	53,000	+7,134	+15.6%
営業利益 (営業利益率)		4,630 (10.1%)	6,000 (11.3%)	+1,370	+29.6%
経常利益		5,130	6,100	+970	+18.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益		3,762	4,600	+838	+22.3%
1株当たり当期純利益 (円)		104.18	127.37		
為替レート (円)	1USD	109.80	110.00		
	1EUR	129.89	130.00		

配当金・配当性向・ROE



自己株式の取得 (実績)

	2018年	2019年	2021年
取得総額	15億円	10億円	10億円
取得株数	70万株	67万株	63万株

※創立40周年記念配当2.5円を含む

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 (予)
配当性向	28.6%	54.1%	77.7%	28.8%	28.3%
ROE	12.3%	6.8%	4.3%	11.2%	-

中期経営計画

「中期経営計画2024」のポイント

グループ 企業理念

ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す！

ベンチャースピリットとは

「新しい価値を創造する力」 「成長とスピードを強く求める姿勢」

「諦めず挑戦する姿勢」

中期連結 経営目標

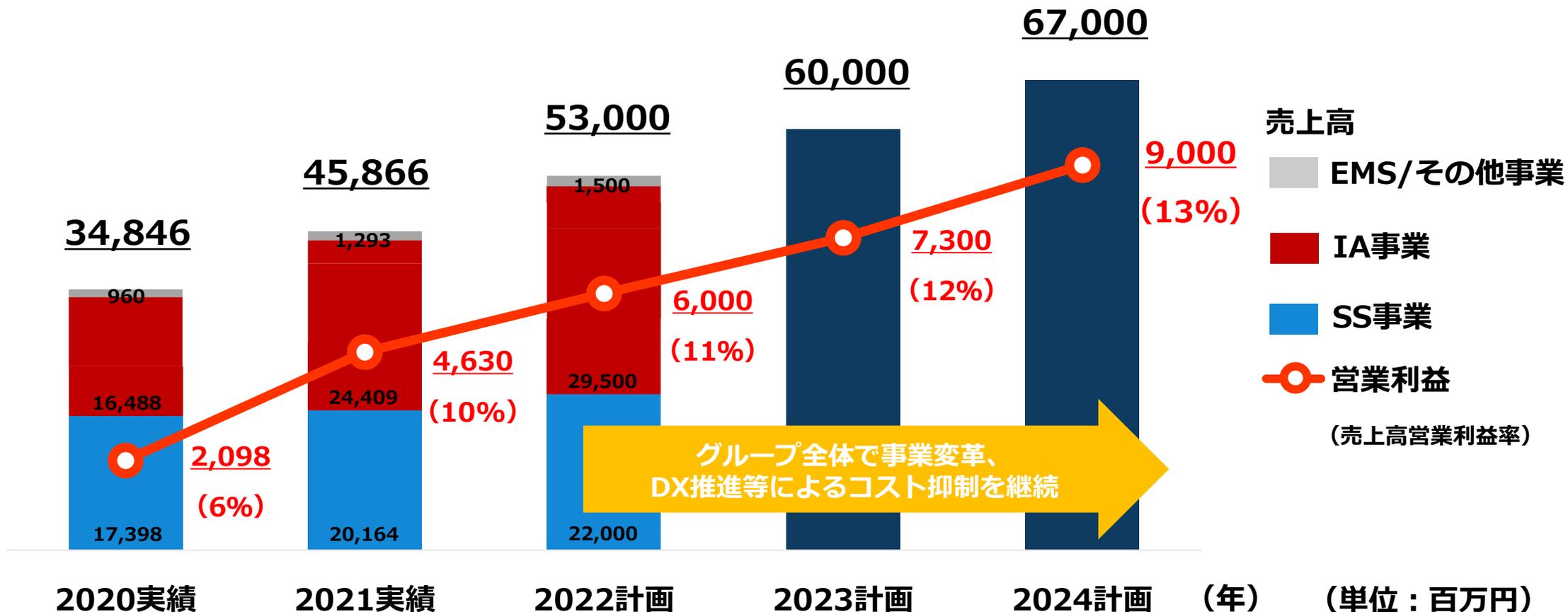
2022年の連結営業利益60億円を目指し、

コストの効率化を推進、

2025年の連結営業利益100億円以上を目指す。

「中期経営計画2024」の数値目標

連結業績2020-21及び中期経営計画2022-24



「中期経営計画2024」達成に向けた戦略

成長戦略「3つの矢」

事業規模



M&A先とのシナジー



M&A先の成長



既存事業の成長

HOP 2009-2015

STEP 2016-2021

JUMP 「中期経営計画」 2022-2024~

時間軸

①既存事業の成長 システムソリューションを提供

SS事業（防犯関連）



センサー × 監視カメラ
遠隔画像確認ソリューション

SS事業（自動ドア関連）



国内シェア50%を活用
データサービスビジネス展開

IA事業（FA関連）



「予知保全」
工場のIoT化に貢献

IA事業（MVL関連）



照明・カメラ・レンズ等のシステム販売
AIとロボットの活用

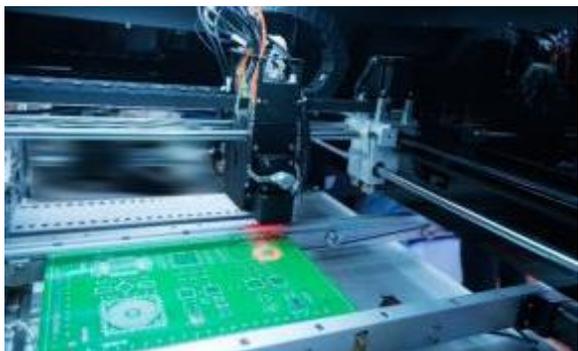
②M&A先の成長 市場環境の追い風によりM&A企業の本業が拡大

IA事業（IPC関連） サンリツオートメーション

SANRITZ

需要拡大が期待できる市場

半導体製造装置・医療機器



組み込みボードの販売拡大



強み：高い品質と信頼性

- 耐環境性、耐ノイズ
- 長期供給性（長期継続サポート、メンテナンス）

Social

半導体の製造拡大による
DX推進への貢献



②M&A先の成長 市場環境の追い風によりM&A企業の本業が拡大

IA事業 ミツテック



需要拡大が期待できる市場

ハイブリッド車・電気自動車



二次電池製造装置の販売拡大



強み：高度なメカトロ技術を保有

- 高速・高精度充填技術
- 高速搬送技術 等

Environment

自動車のEV化推進・
脱炭素社会の実現に貢献



③M&A先とのシナジー

SANRITZ



SS事業



交通制御



重要施設



駐車場管理

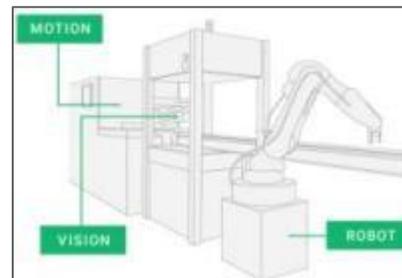
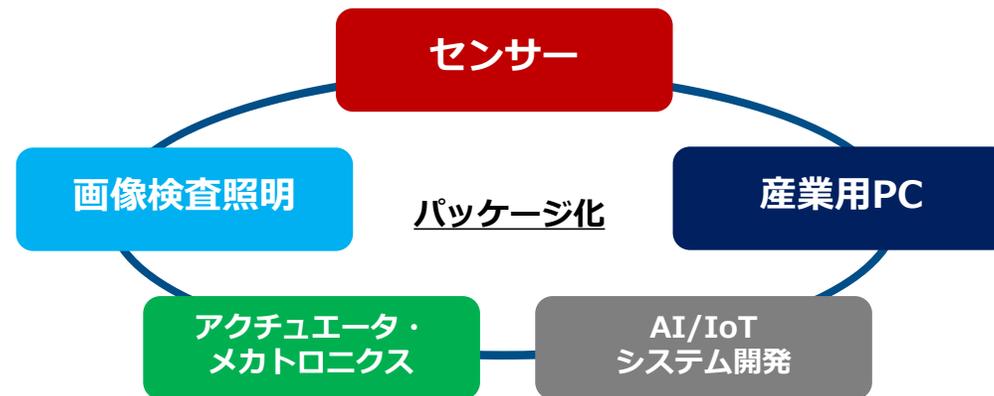
それぞれの強みを活かし、システム販売を推進

mitsu



IA事業

「トータルソリューションベンダー」として、
IA事業でのコト売りを推進



お客様の課題に合わせて
カメラ、LED照明、各種測定機等を
組み合わせた画像処理検査システムを構築

オペテックスグループの経営指標

売上成長率

10%伸長

営業利益率

15%以上

ROE

10%以上

<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	45,866百万円
営業利益	4,630百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 6914 (2022年4月4日よりプライム市場へ移行)
連結従業員数	2,277名 (数値：2021年12月期実績)



オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

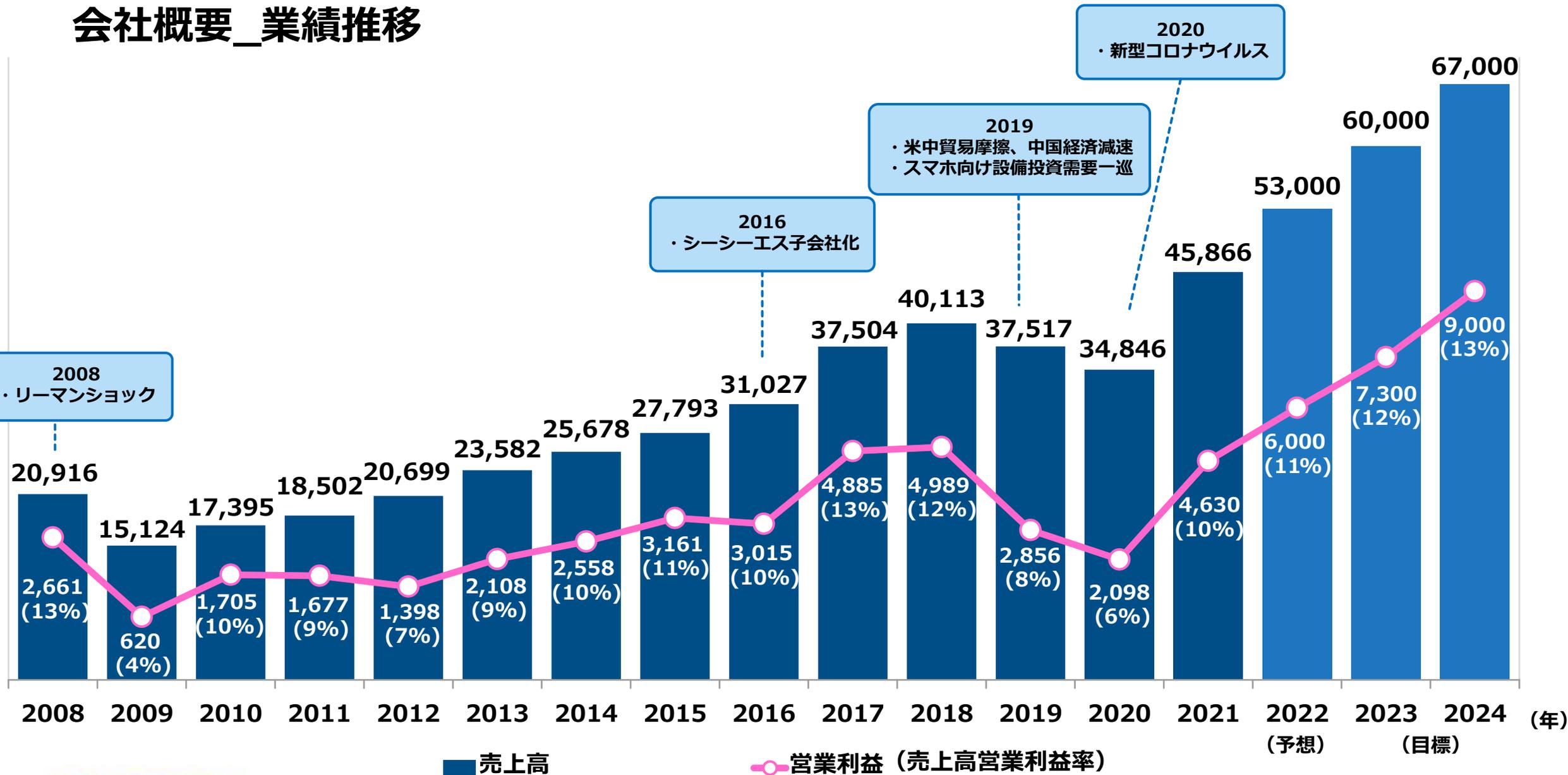
オプテックスグループ

OPTEX

Optical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)

会社概要_業績推移



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（現JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2020年 サンリツオートメイション株式会社を子会社化
- 2021年 ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像検査用LED照明



会社概要_体制図

SS事業 : Sensing Solution (センシングソリューション) 事業
IA事業 : Industrial Automation (インダストリアルオートメーション) 事業

オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 第一部上場 証券コード : 6914)

オプテックス株式会社



防犯用・自動ドア用等
各種センサーの
開発・販売

SS事業

オプテックス・
エフエー株式会社



ファクトリーオート
メーション用センサーの
開発・販売

シーシーエス株式会社



画像検査用LED照明の
開発・製造・販売

サンリツオート
メイション株式会社



産業用コンピュータの
開発・製造・販売

ミツテック株式会社



ファクトリーオート
メーション用自動化設備
及び画像処理検査装置の
開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・
エムエフジー株式会社



グループ製品の製造・
電子機器受託生産

株式会社スリーエース



各種システム及び
アプリケーション・
デジタルコンテンツ開発

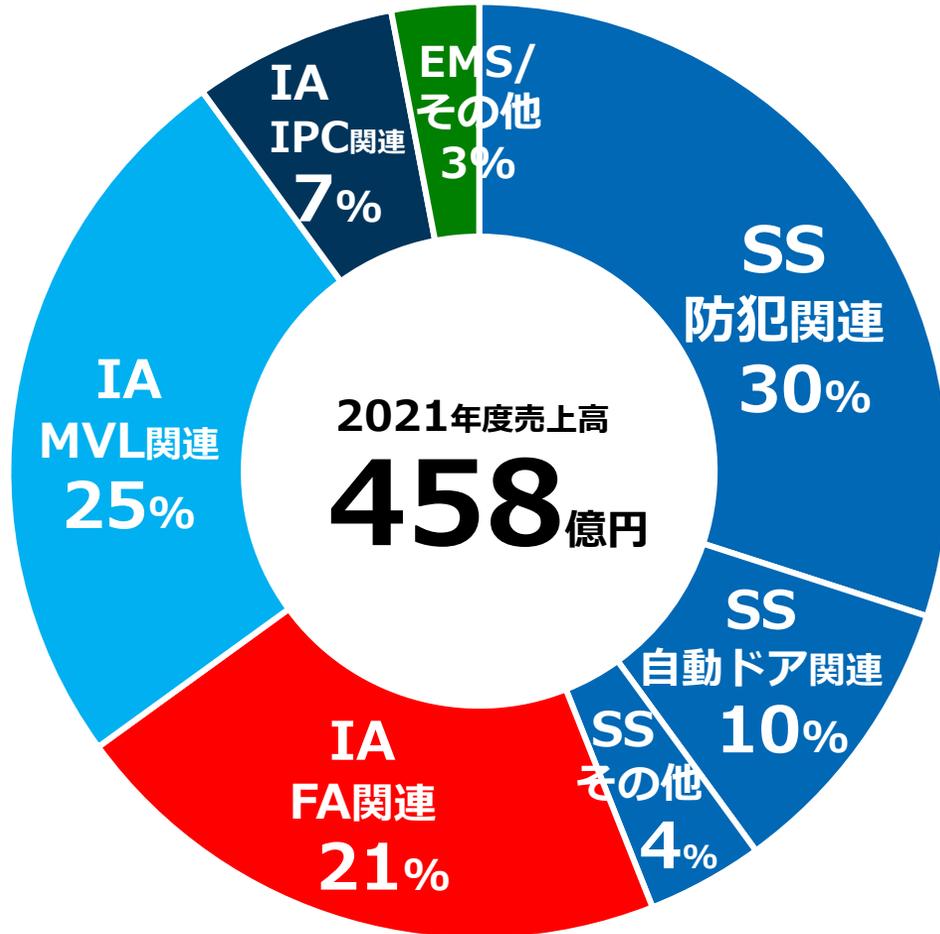
オーパル
オプテックス株式会社



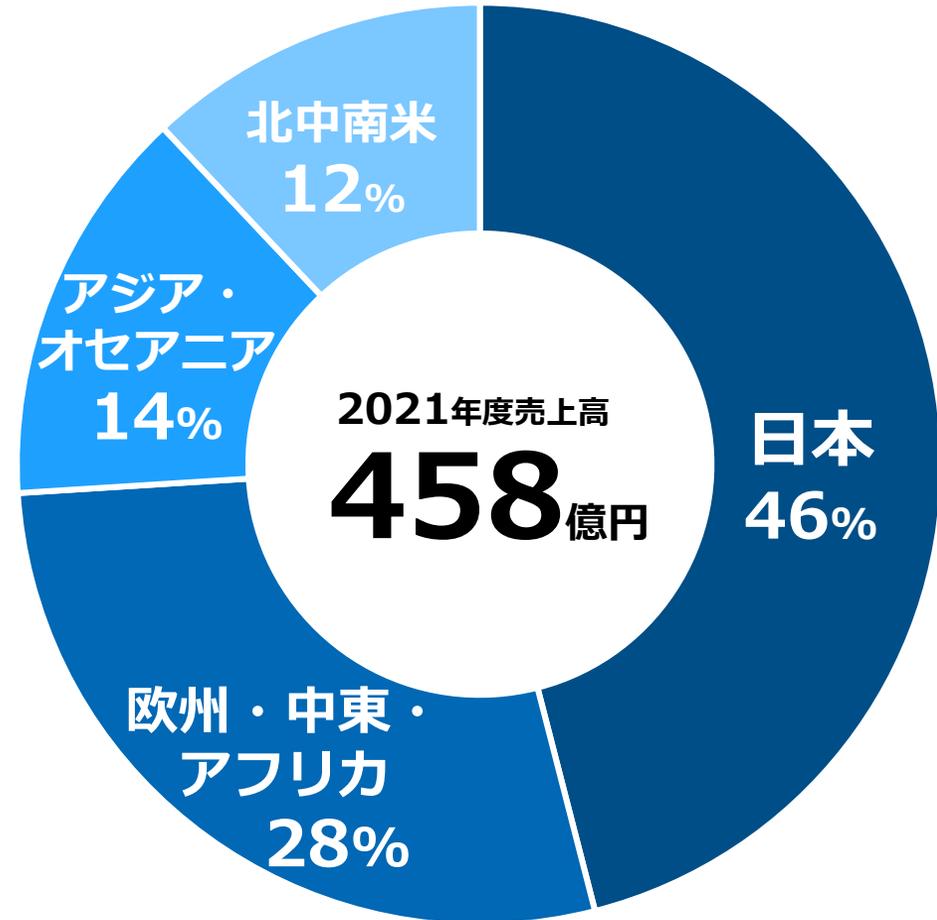
アウトドアアクティビティ
及び環境体験学習の運営

会社概要_売上構成比

事業別



地域別



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



重要施設向けセンサー

カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



クリーンスイッチ



タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明

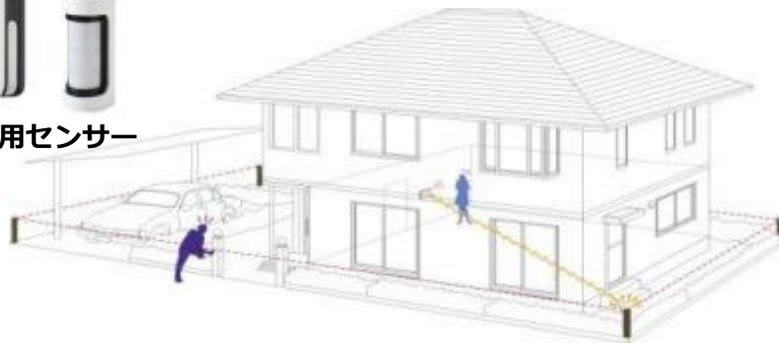


各種LED照明

事業概要_SS事業（防犯関連）防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



【警備会社】
駆け付けサービス



欧米では警察が駆け付け

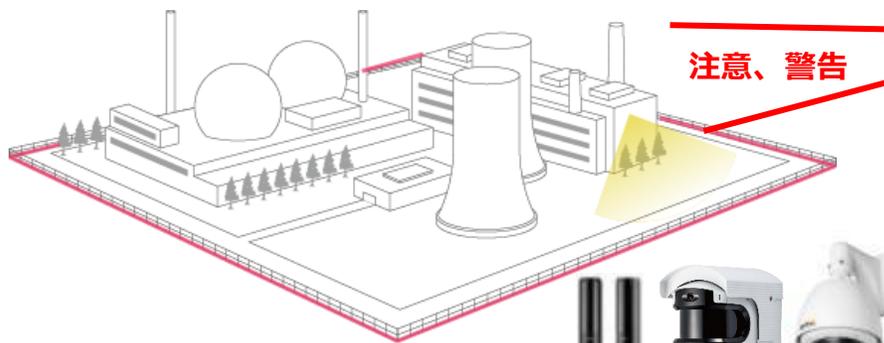
高級住宅（海外）



オフィス



大型重要施設



注意、警告



【警備員室】
画像監視



発電所・石油インフラ施設



空港



屋外用センサーと
監視カメラが連動

Copyright (C) 2022 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要_SS事業（自動ドア関連）自動ドアセンサー

国内シェア50%、海外シェア20%

1980年、当時はまだ軍事用途が中心だった赤外線を、自動ドアセンサーに応用しました。



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機



赤外線センサー（頭上）



フォークリフトを確実に検知

事業概要_IA事業 (FA関連) 工場用センサー



工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

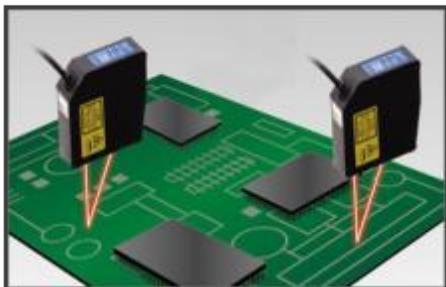
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け (食品、医薬品、化粧品)



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

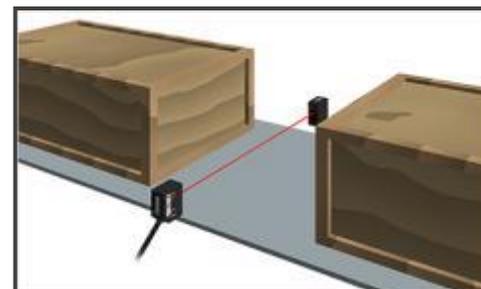


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



自動倉庫ではみ出し検出

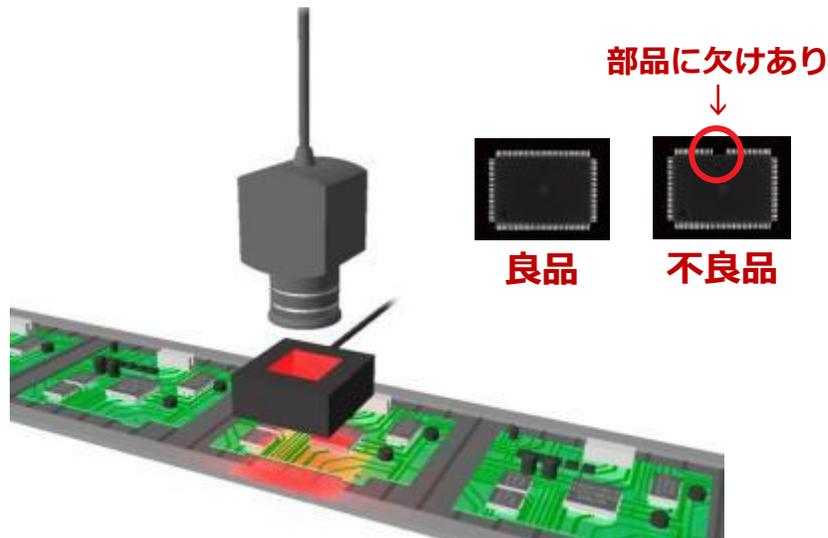
事業概要_IA事業 (MVL関連) 画像検査用LED照明



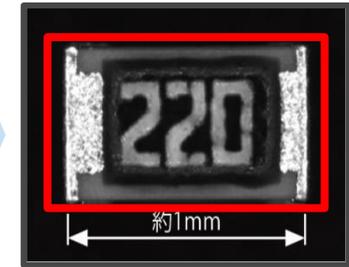
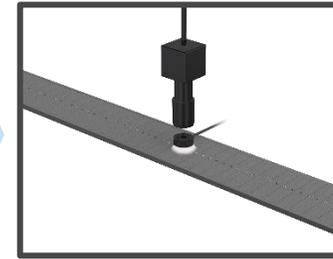
CCS は1993年設立の、LEDを活用した**検査用照明**メーカー

検査用照明とは？※

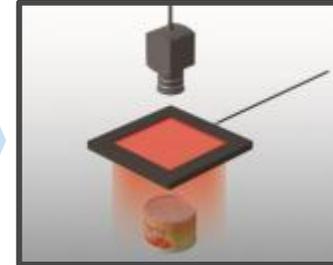
工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



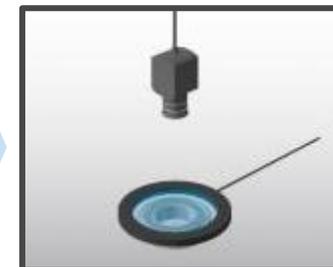
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と云います。

事業概要_IA事業 (IPC関連) 産業用コンピュータ

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

半導体製造装置や医療・通信などの
コンピュータ・プラットフォームを提供



生産・社会インフラシステム

生産現場や社会インフラの
課題を解決するシステムを提供



先進計測・制御システム

ロボットなど、計測・制御用の
先進システム製品を提供



ESGの取り組み

当社はESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。
ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください ([レポートはこちら](#))。



Environment (環境)

環境問題を解決する製品・サービス

<自動ドア用センサー>

横切るだけの動きに反応せず、向かってくる動きだけに反応することで、無駄な開閉を防止、空調効率を改善。



電力消費量
約30%削減

<LEDセンサー照明>

必要なときだけ機械やシステムを動かす低消費電力のセンサーにより、システム全体の負荷を抑制。

LED × センサー
電力消費量
約90%削減



Social (社会)

地域社会との関わり

CSR活動の一環として、立地環境を生かした社会貢献「びわこ環境体験学習プログラム」を運営



カヌー



外来魚しらべ



プランクトン観察

Copyright (C) 2022 OPTEX GROUP CO., LTD.



Governance (ガバナンス)

ガバナンス体制の取り組み

取締役・監査等委員11名中、3分の1以上の4名に独立社外取締役（弁護士・公認会計士を含む）を選任

2020年3月開催の定時株主総会で初めて女性の社外取締役1名を選任



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現

<https://www.optexgroup.co.jp/>